

【講座構成】

●音程編（全ての基礎）	4講義
●ハーモニー編（コード理論）	22講義
●メロディー編（スケール理論）	16講義
●リズム統合・応用編	12講義
●耳コピー・即興演奏・まとめ	6講義

【推奨学習手順】

BEGINNING



BASIC



ADVANCED

1~4 音程編 ①~④



5~7 メロディー編 ①~③



8~13 ハーモニー編 ①~⑥

14~19 ハーモニー編 ⑦~⑬



20~25 リズム統合・応用編 ①~⑥



26~35 メロディー編 ④~⑬

36~41 リズム統合・応用編 ⑦~⑫



42~44 メロディー編 ⑭~⑰



45~54 ハーモニー編 ⑭~⑳



55~60 耳コピー・即興演奏・まとめ①~⑥

メロディー編 (スケール理論を中心に)

【BEGINNING】

1	1	音程編① 音程とは・音程力 (3段階 知識⇒分析ツール⇒素材として活用)	講座番号1~4は音程編	
2	2	音程編② 音楽の二面性 (アポロン VS デュオニソス) ・長短音程 (2,3,6,7)		
3	3	音程編③ 音程と周波数比の関係・完全音程 (1,4,5,8)		講座番号5~7がメロディー編です
4	4	音程編④ トライトーン (増4,減5) ・絶対音感と相対音感・音感トレーニング		
5	1	メジャースケール (幹音の並び、全全半のテトラコルド、Circle of 5 th 、調合と調性)		
6	2	マイナースケール 3種 (平行調としてのナチュラルマイナー ⇒ ハーモニックマイナー ⇒ メロディックマイナー)		
7	3	メジャーペンタトニックスケール、マイナーペンタトニックスケール (その他: 都節、田舎節、沖縄音階)		

【BASIC】

26	4	教会旋法① (音楽史におけるグレゴリオ聖歌の位置付け)
27	5	教会旋法② (それぞれの旋法の特徴、「い・ど・ふ・り・み・え・ろ」とダイアトニックコードとの関係)
28	6	メロディー分析とフレージング (分解 ⇒ 分析・構造把握 ⇒ 組み立て)
29	7	II - V - I で使えるスケールの全体像 II、I 時のアヴェイラブル・ノート・スケールとしてのブルーノートスケール
30	8	ドミナントモーションで使えるスケール① オルタードスケール
31	9	ドミナントモーションで使えるスケール② コンビネーション・オブ・ディミニッシュ (ディミニッシュスケールとの比較)
32	10	ドミナントモーションで使えるスケール③ ホールトーン (色彩感に関する考察/歴史的な位置づけー平均律の解説と合わせて)
33	11	ドミナントモーションで使えるスケール④ ホールトーンの実践、リディアン♭7 th 、トライトーンサブスティテュート(裏コード)
34	12	ドミナントモーションで使えるスケール⑤ ロクリアン#2、Hmp5↓ (minor II - V - I 時のアヴェイラブル・ノート・スケール)
35	13	アヴェイラブル・ノート・スケールまとめ (BASICパート総括 リードシート⇒ソロピアノアレンジ変換: 考え方・スキルのまとめ)

【ADVANCED】

42	14	ビバップスケール & ブロックコード奏法 (シアリングスタイル) ① (ビバップメジャースケール・ビバップマイナースケール)
43	15	ビバップスケール & ブロックコード奏法 (シアリングスタイル) ② (ビバップドミナントスケール・ドロップ2テクニック)
44	16	ビバップスケール & ブロックコード奏法 (シアリングスタイル) ③ (ヴォイスングの微調整)

ハーモニー編 (コード理論を中心に)

【BEGINNING】

- | | | |
|----|---|---|
| 8 | 1 | コード① (メジャートライアド、マイナートライアド、Any Key・転回形でのトレーニング) |
| 9 | 2 | コード② (トライアド+1系: 6th、7th、M7th、4音和音の実践的な転回形トレーニング) |
| 10 | 3 | コード③ (構成音変化系: aug、sus4、dim、m7 ♭5、クリシェについて) |
| 11 | 4 | コード進行① (Degree (度数) で考える、ダイアトニックコード) |
| 12 | 5 | コード進行② (Function (機能) で考える、T・SD・D、I-IV-I、I-V-I、I-IV-V-I) |
| 13 | 6 | コード進行③ (再頻出コード進行3種 II-V-I・他循環2種、motion of 5 th 、コード分析入門) |

【BASIC】

- | | | |
|----|----|---|
| 14 | 7 | ヴォイスング① (クローズヴォイスング、オープンヴォイスング) |
| 15 | 8 | ヴォイスング② (3ノートヴォイスング R・3・7/R・7・3) |
| 16 | 9 | テンション① (3つのナチュラルテンション9・11・13、ヴォイスングへの応用 3・7・9/7・3・13) |
| 17 | 10 | テンション② (4つのオルタードテンション ♭9・#9・#11・♭13、ヴォイスングへの応用 3・7・♭9 他) |
| 18 | 11 | ヴォイスング③ (※A・B position Major Key) |
| 19 | 12 | ヴォイスング④ (※A・B position minor Key) ※A・B position は本講座で最重要視している基本フォームです |

【ADVANCED】

- | | | |
|----|----|---|
| 45 | 13 | ハーモナイズ (メロディーにコードを付けるための考え方 - 数種のモチーフを元に実践解説) |
| 46 | 14 | リハーモナイズ① (様々な代理コード、テンション組み合わせ) |
| 47 | 15 | リハーモナイズ② (5度上・半音上のコードを逆算、究極的にはIへの戻り方のバリエーション) |
| 48 | 16 | 転調① (転調の十字架: 属調、下族調、平行調、同主調、近親調への転調) |
| 49 | 17 | 転調② (ピポッドコードによる転調、ドミナント7thを介した転調、) |
| 50 | 18 | 転調③ (狙ったKeyに転調するための具体的方法: コード進行&ヴォイスング) |
| 51 | 19 | 転調④ (いきなり転調 Tonic to Tonic、この転調がスゴイ!: 実践解説) |
| 52 | 20 | 4度堆積① (4度堆積の基本トレーニング) |
| 53 | 21 | 4度堆積② (5度ハーモニーへの応用、ケニー・バロンヴォイスング、神秘和音) |
| 54 | 22 | Upper Structure Triad |

リズム統合・応用編

【BASIC】 A・B position を元にした各種実践的エクササイズ

- | | | |
|----|---|---|
| 20 | 1 | ソロピアノアレンジの考え方（メロディー、ハーモニー、ベースラインの3層に分けて構築する） |
| 21 | 2 | ベースライン①（2ビート 1, 5を中心に） |
| 22 | 3 | ベースライン②（ウォーキングベース ターゲットノート&アプローチノート） |
| 23 | 4 | コンピング基礎（コンピング=ヴォイスング×リズムパターン/Even と Swing (Shuffle)) |
| 24 | 5 | A・B position 実践トレーニング① |
| 25 | 6 | A・B position 実践トレーニング② |

【ADVANCED】

- | | | |
|----|----|---------------------------|
| 36 | 7 | ラテンコンピング（8分音符系） |
| 37 | 8 | ボサノヴァコンピング（8分音符系） |
| 38 | 9 | ファンクコンピング（16分音符系） |
| 39 | 10 | ハーフタイムシャッフル（16分音符系×SWING） |
| 40 | 11 | ジャズワルツ・5拍子 |
| 41 | 12 | リズムパターン総合練習 |

【耳コピー・即興演奏・まとめ】

- | | | |
|----|---|--|
| 55 | 1 | 耳コピー①（ロードマップ概説：原曲⇒構造分析⇒リードシート化⇒アレンジ⇒演奏/メロディー音感育成） |
| 56 | 2 | 耳コピー②（ハーモニー音感育成、MISIA “Everything” での実践 ラフスケッチ的耳コピー） |
| 57 | 3 | 耳コピー③（リズム音感育成、MISIA “Everything” での実践 ラフスケッチ⇒精査・アレンジ） |
| 58 | 4 | 原曲がない状態からの即興演奏①（モチーフから曲を組み立てる） |
| 59 | 5 | 原曲がない状態からの即興演奏②（イメージ・テーマから曲を組み立てる） |
| 60 | 6 | 総まとめ：JAZZ学習の全体像を「ロードマップ」で整理！（耳コピー・即興演奏に必要な各種パターンを体系的に効率良く習得） |